



tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第83期 報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第83期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)は、連結売上高は3,045億円(前期比+2.1%)と増収になりましたが、テレビ広告市況の停滞などもあり営業利益は145億円(同△32.3%)で減益となりました。

業績面の厳しさはありましたが、地上波の年度平均視聴率は好結果となり、個人全体視聴率では全日帯(6~24時)3.6%、プライム帯(19~23時)5.6%と、開局以来初の2冠を達成することができました。また世帯視聴率では全日帯(6~24時)6.6%、ゴールデン帯(19~22時)9.5%、プライム帯(19~23時)9.6%で、開局以来初の3冠を達成しました。当社グループの価値の源泉である“コンテンツ”の地道な改善等が成果につながったことに加え、3月に放送した「2023 ワールドベースボールクラシック(WBC)」が、1次ラウンドから決勝まで放送を担当したすべての試合で世帯視聴率40%超えという驚異的な結果となったことも貢献してくれました。テレビ離れなども指摘されるなか、WBCの歴史的な高視聴率は、地上波放送が持つ訴求力の強さを実証し、その伝達力やコンテンツの持つ本質的な力を再認識させてくれました。

こうした放送だけでなく、成長領域として期待する各事業の拡大にも精力的に取り組みました。

インターネットでは、インターネットテレビ局「ABEMA」、有料動画配信サービス「TELASA」、無料見逃し動画配信サービス「TVer」、動画広告配信プラットフォームを運用する「UltraImpression(ウルトラインプレッション)」など、幅広い取り組みを展開しました。昨年11月の「FIFAワールドカップ カタール 2022」では地上波での放送だけでなく、ABEMAでの配信も成功させることができたことは大きな成果となりました。また、最新テクノロジーを活用したメタバースなどについても積極的に取り組みました。

メディアシティでは、臨海副都心の有明南地区にエンターテインメントとテクノロジーが融合する新たな情報発信基地「東京

ドリームパーク」の建設を進めています。詳細な建設計画やビジネスプランの策定は順調に進んでおり、本年度中にいよいよ着工となります。当社グループの情報発信拠点として大きく成長させてまいりますので、ご期待ください。

当期も経営計画「テレビ朝日360°2020-2025」を推進し、大きな成果をあげることができました。当期で経営計画の前半の3年が終了しますが、2023年度からの後半3年間は開局65周年や、「東京ドリームパーク」の竣工(2025年予定)など、当社グループにとって重要な節目を迎えることとなります。この期間の歩みを盤石なものとするため、2023年度から2025年度に特化した経営計画「BREAKOUT STATION! 新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025」を策定し、4月からスタートさせています。これまでの良い流れを堅持するため、経営計画の基本理念は維持したうえで“BREAKOUT STATION”というタイトルには、既存のテレビ局を超えて「新しい時代のテレビ局」へと進化していく強い決意を込めました。新しい経営計画では、具体的な戦略目標に加え、目指すべき定量目標と、企業価値の更なる向上に資する戦略投資枠の設定も行っています。

今後インターネット広告の台頭などによりテレビ広告市況の厳しさが増すとしても、コンテンツやIP、我々が保有する“ものづくりネットワーク”の重要性はむしろ高まると想定しています。新たな経営計画のもと既存のテレビ局を超える進化を加速させ、資本効率の継続的な改善、企業価値の向上に努めることで株主の皆様のご期待に応えてまいります。

2023年6月

代表取締役会長

早河洋



特集

4月より新たな経営計画スタート!

BREAKOUT STATION!

新しい時代のテレビ朝日 経営計画2023-2025

当社グループでは、2020年度より経営計画「テレビ朝日360° 2020-2025」を推進してまいりました。この期間の成果を踏まえ、2023年度から後半3年間の歩みを着実なものとするため、新たな経営計画の策定を行い、4月からスタートさせました。これまでの基本理念は維持したうえで、360°戦略を積極的に展開して「新しい時代のテレビ局」への進化を加速させていく方針です。

また、新経営計画では「戦略投資枠」「定量目標」の設定も行いました。各種取り組みを着実に成長へとつなげ、収益の最大化、企業価値の向上を実現してまいります。



▶ 個別戦略

地上波戦略

最強コンテンツの編成テーブルを完成させ、2025年度までに年間・年度での個人全体視聴率**3冠達成!**

インターネット戦略

ABEMA・TELASA・TVerなどでコンテンツのインターネット展開を拡大しマネタイズ・増収を図る

ショッピング戦略

「販路拡大」と「ヒット商品創出」を両輪に事業規模の拡大に努め、収益性向上を図る

メディアシティ戦略

東京ドリームパーク(2025年竣工・2026年春開業)等拠点に、自社IPを活用したリアルイベント等で増収を図る

新領域開拓

コンテンツを活用した新領域に挑戦する(アニメ・ゲーム、メタバース、アクティブシニア、国際展開など)

定量目標 (連結・2025年度まで)

売上高	3,300億円	営業利益	200億円
経常利益	250億円	当期純利益	200億円

戦略投資枠500億円

(東京ドリームパーク・IP開発に資する戦略投資)

新経営計画の詳細は、当社IRページをご覧ください。

https://www.tv-asahihd.co.jp/ir_setex/index.html



TCFD提言に基づく気候変動対応に関する情報開示

気候変動という地球規模の危機に歯止めをかけるため、当社グループは、メディア企業として個人や組織に行動変容を促す情報発信に努めています。我々企業としても気候変動対策を実践するために、本年5月、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)が推奨するフレームワークに沿って情報開示をいたしました。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

テレビ朝日 TCFD 検索



<https://www.tv-asahihd.co.jp/sustainability/tcfd/>



WBC、FIFAワールドカップなど大型スポーツ中継で高視聴率を記録！ 開局以来初の個人 全日・プライム2冠、 世帯全日・ゴールデン・プライム3冠を達成！

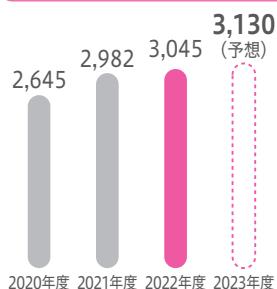
ウィズコロナの下で、日本経済に緩やかな持ち直しの動きが見られた一方で、テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前期を下回るなど、厳しい状況が続きました。

こうした状況において、連結決算における売上高は、3,045億6千6百万円(前期比+2.1%)となり、営業利益は145億3百万円(同△32.3%)となりました。また、経常利益は231億5千7百万円(同△12.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益は166億3百万円(同△20.9%)となりました。

		2020年度	2021年度	2022年度
売上高	(億円)	2,645	2,982	3,045
営業利益	(億円)	144	214	145
経常利益	(億円)	179	264	231
親会社株主に帰属する当期純利益	(億円)	126	209	166
総資産	(億円)	4,737	4,988	4,951
純資産	(億円)	3,761	3,932	3,947
1株当たり当期純利益	(円)	122.08	206.80	163.42
自己資本当期純利益率	(%)	3.5	5.5	4.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	205	301	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△79	76	△250
財務活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△82	△45	△66
1株当たり年間配当金	(円)	40	50	50
配当性向	(%)	32.8	24.2	30.6

売上高

(億円)



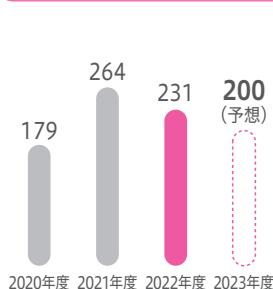
営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)



ホームページの
ご案内



テレビ朝日 IR

検索

<https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別活動報告

事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。

セグメント区分の変更にもとない、2021年度の数値については、変更後の区分により作成したものです。



テレビ放送事業

●売上高(億円)



●営業利益(億円)



売上高 **2,326**億円(前期比**2.5%**減)

営業利益 **95**億円(前期比**42.4%**減)

2022年度の平均視聴率は、全日視聴率(6時~24時)では個人全体3.6%、世帯6.6%とともに1位、ゴールデンタイム(19時~22時)では個人全体が5.6%で2位、世帯が9.5%で1位、プライムタイム(19時~23時)は個人全体5.6%、世帯9.6%とともに1位となりました。この結果、個人全体では、開局以来初の全日・プライムの2冠、世帯では、開局以来初の3冠達成となりました。

ゴールデン・プライム帯では、「報道ステーション」をはじめ、「サタデーステーション」「サンデーステーション」とプライム帯のニュースベルトがそれぞれ同時間帯トップを獲得しました。

また、全日帯では「羽鳥慎一モーニングショー」が、3年連続の同時間帯トップ、「大下容子ワイド!スクランブル」は、1部が9年連続の同時間帯トップ、2部が初の同時間帯トップを獲得し、午前帯から良い流れを作り、全日帯トップに貢献しました。

連続ドラマでは、「相棒season21」(平均:個人全体7.7%、世帯13.5%)、「ザ・トラベルナース」(平均:個人全体6.7%、世帯12.1%)、「未来への10カウント」(平均:個人全体6.3%、世帯11.0%)などトップ10に6作品が入りました。また、「星降る夜に」は、初回放送の見逃し配信再生数が初動1週間でテレビ朝日歴代最高となる301万回再生を記録しました。

バラエティー番組では、金曜の「ザワつく!金曜日」、土曜の「池上彰のニュースそうだったのか!!」「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」など週末の番組が高い数字となりました。

スポーツでは、「FIFAワールドカップ カタール 2022」の10試合を地上波独占生中継し、「日本×コスタリカ」(個人全体30.6%、世帯42.9%)の中継が2022年の全局すべての番組のなかで最高の視聴率となりました。また、「2023 ワールドベースボールクラシック」では、放送を担当した4試合すべてで個人全体20%・世帯40%を上回る視聴率を記録、特に「準々決勝 日本×イタリア」(個人全体31.2%、世帯48.0%)は、テレビ朝日歴代2位の高視聴率となりました。



「報道ステーション」



「ザワつく!金曜日」



「相棒season21」

事業別活動報告



インターネット事業



売上高 254億円(前期比10.6%増)

営業利益 14億円(前期比0.7%増)

株式会社サイバーエージェントとの共同事業「ABEMA」は、「FIFAワールドカップ カタール2022」での全64試合生中継のサービスなどを経て、1,600万WAU(ウィークリーアクティブユーザー)前後で推移、有料の「プレミアム」会員も増えており、無料・有料ともに堅調に推移しました。「ABEMA NEWS」は注目度の高いニュース・記者会見等や災害情報をリアルタイムで配信。報道特番などもタイムリーに編成し、緊急時の「生活インフラ」としても定着しつつあります。KDDI株式会社との共同事業としてSVOD(定額制動画配信)サービスを提供している「TELASA」は、テレビ朝日の番組との連動コンテンツやTELASAオリジナルの泰流コンテンツなどを積極的に展開し会員数を順調に伸ばし、事業も拡大しております。無料見逃し動画配信サービスを提供している「TVer」は、2022年7月に累計アプリダウンロード数が5,000万を突破、月間ユニークブラウザ数も好調に推移しています。また2022年4月からプライムタイムを中心としたリアルタイム配信を開始、2023年4月からは本格セールスとなり新たなビジネスとして成長させていく予定であります。また連結子会社の株式会社UltraImpressionは、精度の高いデータに基づく多彩なターゲティングができることが好評で、見逃し動画配信での広告を中心に順調に業績を伸ばしております。



ショッピング事業



売上高 194億円(前期比0.1%減)

営業利益 8億円(前期比53.5%減)

下期より毎週金曜に新番組「午後もしゅん散歩」を開始し、好調な売上となりました。一方、当期においては新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要に落ち着きが見られてきたことなどにより、減収となりました。



その他事業



売上高 404億円(前期比37.4%増)

営業利益 26億円(前期比64.9%増)

■イベント事業 新型コロナウイルス感染症対策が次第に緩和されるなか、「テレビ朝日 ドリームフェスティバル」「東京・大阪メトロポリタンロックフェスティバル」を、従来のキャパシティに戻して開催し、増収の大きな要因となりました。そして、3年ぶりとなった「テレビ朝日・六本木ヒルズ SUMMER STATION」では、番組と連動したアトラクション・グルメ企画や音楽ライブを37日間にわたって開催しました。

■音楽出版事業 音楽出版事業は、所属アーティストの「ケツメイシ」「平井大」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となりました。

■出資映画事業 2022年4月に公開した「映画クレヨンしんちゃん もののけニンジャ珍風伝」が、20億4千万円の興行収入となり、2023年3月公開の「映画ドラえもん のび太と空の理想郷」も3月31日時点で30億6千万円を超える興行収入となっています。その他、ドラマ連動作品「七人の秘書 THE MOVIE」「シャイロックの子供たち」などを公開しました。

2023年度の株主様向け優待のご案内

対象の株主様は、以下①～③の中から優待を選択いただき、期限までにお申込みください。
お申込み後の商品の変更はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

※ 優待品の発送は、9月下旬を予定しております。

対象となる株主様

2023年3月31日(金)時点の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、
「500株以上を2年以上継続して保有する」株主様。

お申込み方法

対象の株主様のみ、「株主様優待品申込書」を同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。

お申込み期限 ▶ 2023年7月21日(金)必着

①QUOカード(1,000円)



本優待品のためにアナウンサー自ら写真を撮影、プロデュースしたオリジナルデザインです。

左からテレビ朝日アナウンサー
柳下圭佑、森川夕貴、弘中綾香、斎藤ちはる、
森山みなみ、草薙和輝

撮影：テレビ朝日アナウンサー 本間智恵

②寄付

お申込み1件あたり1,000円を、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団へ当社より寄付いたします。

※ 領収書の発行はいたしかねますので、ご了承ください。

<社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団>

1951年制定の社会福祉事業法(2000年社会福祉法に法名改正)に基づき、社会福祉の増進を図ることを目的として、第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人として申請・認可されたもので、発足以来、株式会社テレビ朝日と連携して、テレビ局の特性を生かし、「児童福祉」「障がい者福祉」「高齢者福祉」「母子福祉」など、時代の要請に応える活動を展開しております。

(※ いただいた個人情報は、株主様向け優待に関するお手続きのためのみに利用させていただきます。)

③エコ素材Tシャツ



SIZE	M	L
身丈(cm)	69	73
身幅(cm)	52	55
肩幅(cm)	46	50
袖丈(cm)	20	22

素材：綿70% ポリエステル30%(表糸：綿100%)

原料にリサイクルされたポリエステルを使用したTシャツです。

テレビ朝日のマスコットキャラクターであるゴーちゃん。と、お友達のちんじゅうみんが描かれたオリジナルデザインです。

Mサイズ、Lサイズからお選びください。

株主様優待品お問合せ先 0120-782-031

※土曜・日曜・祝日および12/31～1/3を除く9時～17時
事務代行：三井住友信託銀行株式会社

上記以外の「株主様向け優待」に関するお知らせ

「題名のない音楽会」の収録見学、および、本社ビル施設の見学会などにつきましては、再開に向けた準備を進めております。今後、再開できる状況となりましたら、改めて告知させていただく予定です。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

株主様ご優待 お問合せ専用番号

0120-532-510

10時～18時
※日曜・祝日・12/30～1/3は除く

会社情報 / 株式情報 (2023年3月31日現在)

◆ 会社の概要

商号 株式会社 テレビ朝日ホールディングス
(TV Asahi Holdings Corporation)
設立 1957年11月1日
資本金 366億8,790万円
本店所在地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容 株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等を行う認定放送持株会社

◆ 役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長	早河 洋	取締役	田中 早苗
代表取締役社長	篠塚 浩	取締役	中村 史郎
取締役	役 武田 徹	取締役(監査等委員)	長田 明
取締役	役 角南 源五	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	役 板橋 順二	取締役(監査等委員)	弦間 明
取締役	役 堀江 隆	取締役(監査等委員)	藤重 貞慶
取締役	役 西 新	取締役(監査等委員)	宮田 桂子
取締役	役 多田 憲之		

(注) 多田 憲之、田中 早苗、中村 史郎、池田 克彦、弦間 明、藤重 貞慶、宮田 桂子の各氏は、社外取締役であります。

◆ 株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	23,411名

◆ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,151,840	24.73
東映株式会社	18,522,900	17.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,338,300	5.99
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.75
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	4,030,000	3.81
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.15
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,282,600	2.15
朝日放送グループホールディングス株式会社	1,572,000	1.48
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,377,987	1.30

(注) 持株比率は、自己株式(2,786,071株)を控除して計算しております。また、小数第二位未満を切り捨てて表示しております。

◆ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日祝日および12/31~1/3を除く)
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp>